日本医師会赤ひげ大賞候補者推薦方法概要

○「日本医師会赤ひげ大賞」

地域に根差した「かかりつけ医」として地域住民の日々の健康管理と診療を親身になって行っている「現代の赤ひげ」を顕彰すべく、平成２４年度に創設された賞であり、都道府県医師会長の推薦した候補者から、毎年１回、５人を選定し表彰するもの。

○「日本医師会赤ひげ大賞」候補者推薦に際しての注意事項

１．病を診るだけではなく、地域に根付き、その地域のかかりつけ医として、生命の誕生から看取りまで、さまざまな場面で住民の疾病予防や健康の保持増進に努めている医師であること。

２．日本医師会あるいは都道府県医師会の会員で現役の医師（ただし、現職の日本医師会・都道府県医師会役員は除く）であること。

３．「女性医師」や「若くても地域住民のために新たな取り組みを開始したような医師」「後進の育成に貢献した医師」も評価対象とする。

４．「赤ひげ大賞」受賞者を産経新聞紙上並びにＢＳフジの特別番組において紹介予定のため、必ず本人の承諾を得てから推薦を行うこと。

○提出書類について

１．「第１１回『日本医師会赤ひげ大賞』候補者推薦書」を作成してください。

２．候補者推薦書のＷｏｒｄデータ版を、日本医師会ホームページ（文書管理システム＞「お知らせ」欄）（https://www1.med.or.jp/japanese/joho/prefmed/）からもダウンロードいただけます。

３．「候補者推薦書」はパソコン、黒インク、黒ボールペン等ではっきり記入し、原本をご提出ください。応募書類は原則として返却されません。

４．推薦書の記入にあたっては、一人称での記述とならないようご注意ください。
（記入例：私は～　→　候補者は～）

５．「候補者が従事する地域の特徴」には、交通手段が少ない、豪雪地帯、都会ならではの状況など候補者を取り巻く環境について、できるだけ詳しくご記入ください（２００字程度）。

６．「該当分野」は、該当するもの全てにチェックを入れてください。

７．「主な功績内容」には、「地域への貢献」「後進の育成」など具体的な事例を挙げて、「特筆される活動とそれに従事した期間」をできるだけ詳しく、候補者の人柄も交えてご記入ください（８００字程度）。

８．推薦書類の作成が完了しましたら、名古屋大学医師会事務局宛（以下提出先参照）にメール添付にてご提出ください。

○推薦書提出期限

令和４年７月４日（月）１７時まで【締切厳守】

○推薦書提出先

名古屋大学医師会事務局

E-mail：ishikai@adm.nagoya-u.ac.jp